

7.0型ワイドTV/MD・DSPAVパワーユニット

AVIC-V7MD

7.0型ワイドTV・DSPAVパワーユニット

AVIC-V7

取付説明書

本製品はJEITAコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も合わせてご覧ください。



PRINTED WITH
SOY INK

この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2003

< KKNZF/03D00000 > < CRA3459-A >

作業の進めかた

① はじめに

接続・取り付け部品を確認する — 2ページ

② 接続のしかた

接続端子のなまえと働き — 3ページ

接続の前に知ってほしいこと — 4ページ

システムの接続 — 6ページ

電源コードの接続 — 8ページ

映像/音声入力の接続 — 10ページ

5.1ch対応・DSPユニットとの接続 — 12ページ

③ 取り付けかた

取り付けの前に
知ってほしいこと — 14ページ

本体の取り付け — 15ページ

TVアンテナの取り付け — 18ページ

④ 接続・取り付けが終わったら

動作を確認する — 28ページ

接続・取り付け部品を確認する

本体関係



本体 × 1



バインドネジ
(5 × 6 mm) × 4



バインドネジ
(4 × 3 mm) × 4

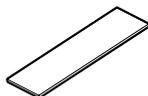


皿ネジ
(5 × 6 mm) × 4

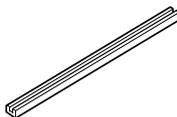
TVアンテナ関係



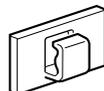
TVアンテナ
右用・左用 各1



塗装保護シート × 2



コードレール × 4



クランパー × 6



ガラスクリーナー剤
× 1



クロス × 1



エレメント固定
ホルダー × 4



六角レンチ × 1

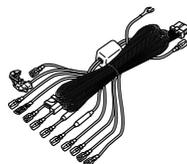


コードクランパー
× 1



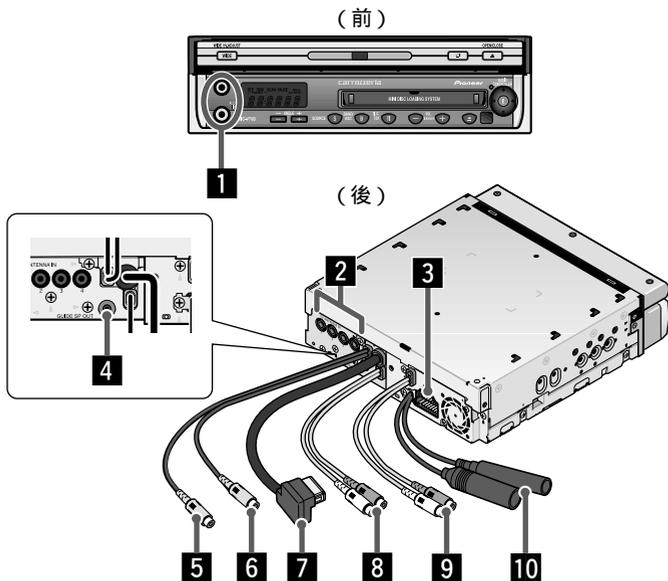
バインドネジ
(4 × 6 mm) × 1

コード関係



電源コード × 1

接続端子のなまえと働き



1 映像入力 (VIDEO IN) 音声入力 (AUDIO IN)

8mmビデオやポータブルビデオなどを、別売のRCAピン/ミニプラグ変換コード「KW-13JC」を使用して、接続することができます。ここに接続した映像・音声はVTR2 (AUX) のソースになります。バックカメラを接続することはできません。

2 TVアンテナ接続端子 1~4

付属のTVアンテナを接続します。1から順に接続してください。

3 電源

付属の電源コードを接続します。

4 ガイドスピーカー端子 (青)

本機をマルチチャンネルプロセッサコマンダー「AXM-P7」と組み合わせた場合、ナビゲーションの音声案内を出力するために、別売のガイド音声用スピーカー「CD-TS36G」と接続します。

5 リアモニター出力 (黄)

別売のリアモニター (TVM-W8000) 用の映像信号が出力されます。

6 映像入力 (黄)

RCA出力付きポータブルビデオ、バックカメラなどを接続することができます。ここに接続した映像はVTR1のソースになります。

7 26ピンRGBケーブル (黒)

パイオニア製の26ピンRGB出力付きのHDDナビゲーションに接続します。

8 音声出力 (白・赤)

別売のRCA入力付きサブウーファー用外部アンプ、またはマルチチャンネルプロセッサコマンダー「AXM-P7」などを接続することができます。

9 音声入力 (白・赤)

RCA出力付きポータブルビデオなどを接続することができます。ここに接続した音声はVTR1のソースになります。

10 アンテナジャック

メイン用 (太) とサブ用 (細) のFM/AMアンテナジャックです。カーアンテナプラグを接続してください。

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。

若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。

本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 から8 のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。

ガラスアンテナ車など、アンテナブースターの電源がある場合、必ず本機の青リード線（オートアンテナ）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

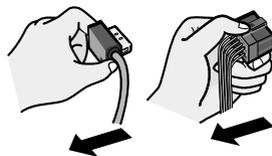
アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障などの恐れがあります。

コネクターの着脱のしかた

コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクターどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



組み合わせる機器について

パイオニア製のHDDナビゲーションと組み合わせて使用します

「AVIC-H9」の『取付説明書』に本機と組み合わせる場合の接続図が記載されています。「AVIC-H09」「AVIC-H07」「AVIC-H99」の場合は、『取付説明書』の「AVIC-V07MD」または「AVIC-V77MD」と同じ方法で接続してください。

メモ

その他の製品と組み合わせる場合は販売店にご相談ください。

接続のポイント

26ピンRGBの接続について

26ピンRGBの端子は、同じ色どうしを接続してください。(コネクターの接続部分が色分けされています。) 違う色のコネクタを接続すると、正常に動作しないことがあります。

電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

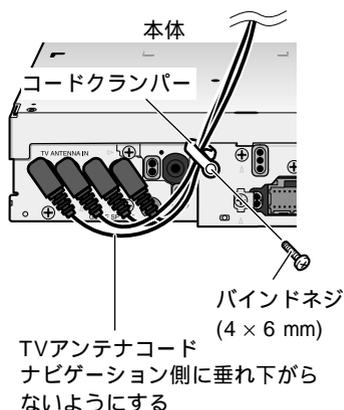
ノイズ防止のために

ノイズ防止のため、TVアンテナおよびFM/AMアンテナコードは、下記の物からできるだけ離して配置してください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

- * ラジオ/FM多重用アンテナおよびアンテナコード
- * RGBケーブル
- * RCAコード
- * 電源コード
- * 車両のコードおよび機器類
- * ナビゲーション本体
- * GPSアンテナ

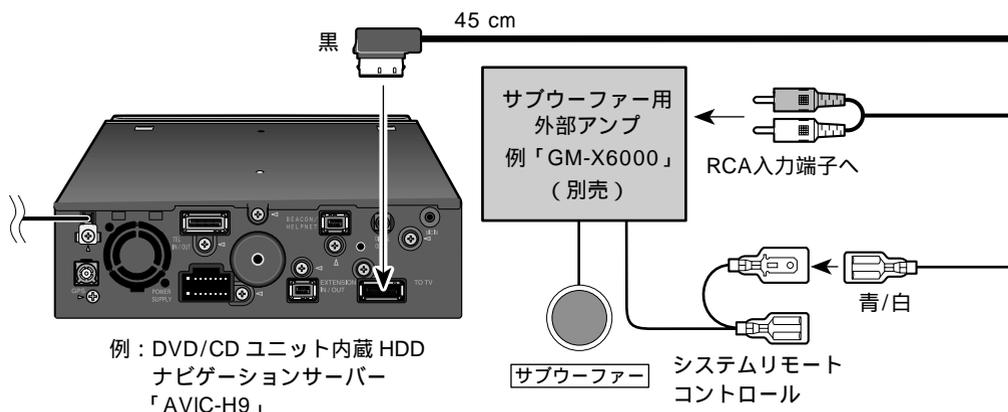
それぞれのコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

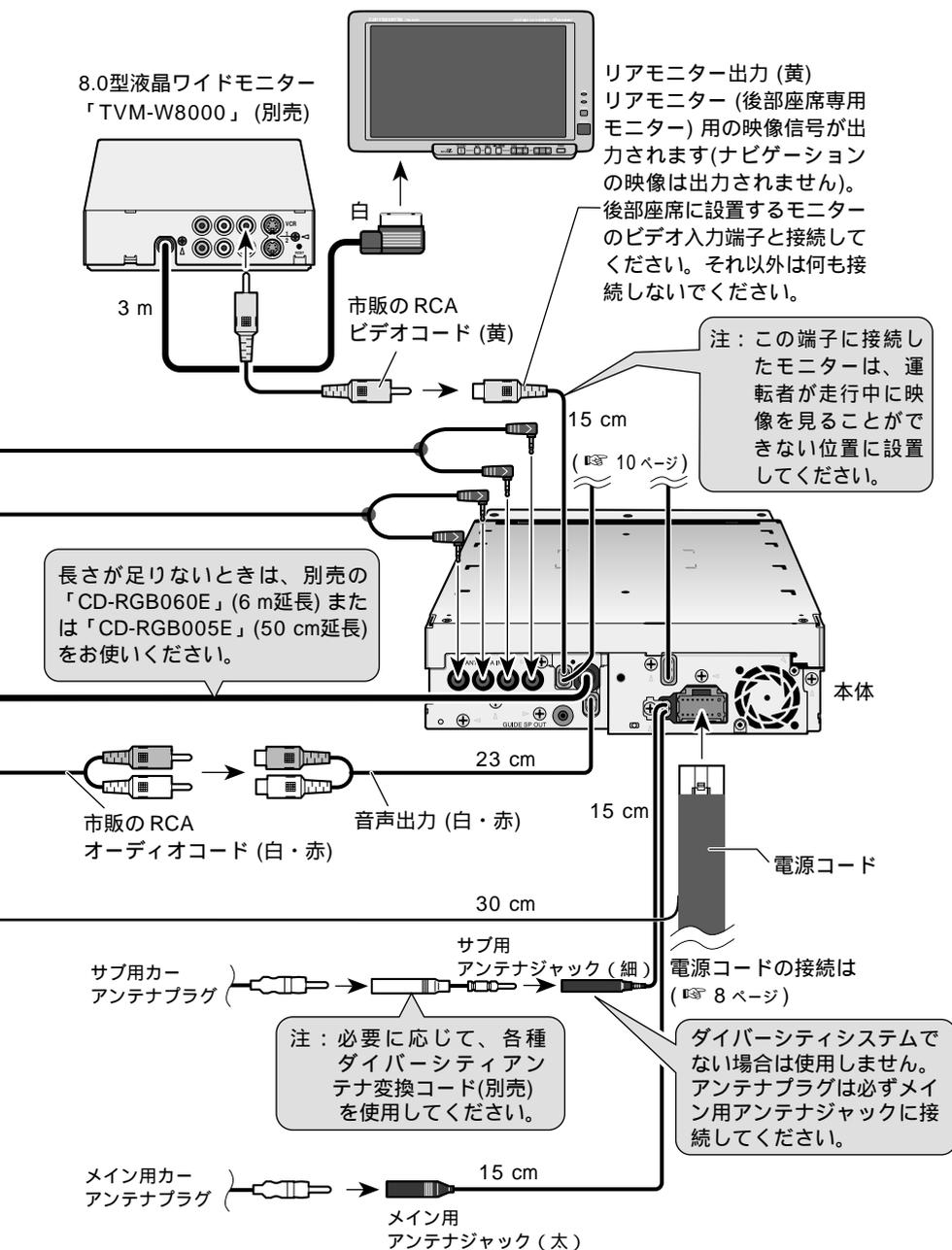
本体とHDDナビゲーション(「AVIC-H9」「AVIC-H99」「AVIC-H09」「AVIC-H07」)を重ねて設置し、本体をHDDナビゲーションの上に取り付けるときは、付属のコードクランパーとバインドネジを使って下記の図のようにTVアンテナコードを固定してください。



システムの接続

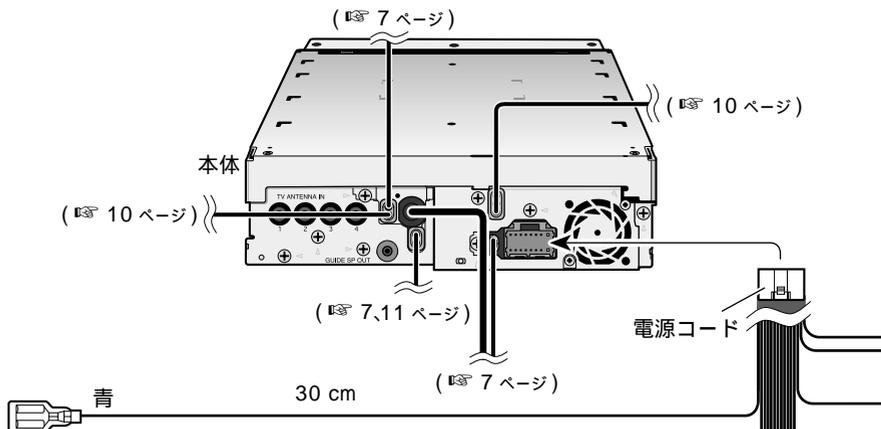
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください





電源コードの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



オートアンテナ
アンテナをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご
使用ください。)

下記以外の場合は、何も接続しないでください。

オートアンテナ車の場合：

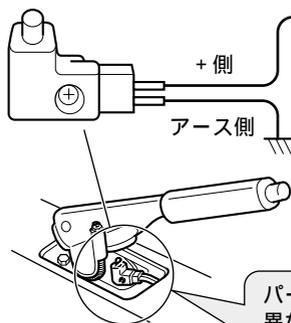
車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。

アンテナブースターの電源がある場合：

車側のアンテナブースターの電源入力端子に接続してください。 2.1 m

注：パーキングブレーキスイッチ線は、ナビゲーション側と本機の両方を必ず接続してください。

パーキングブレーキ
スイッチ



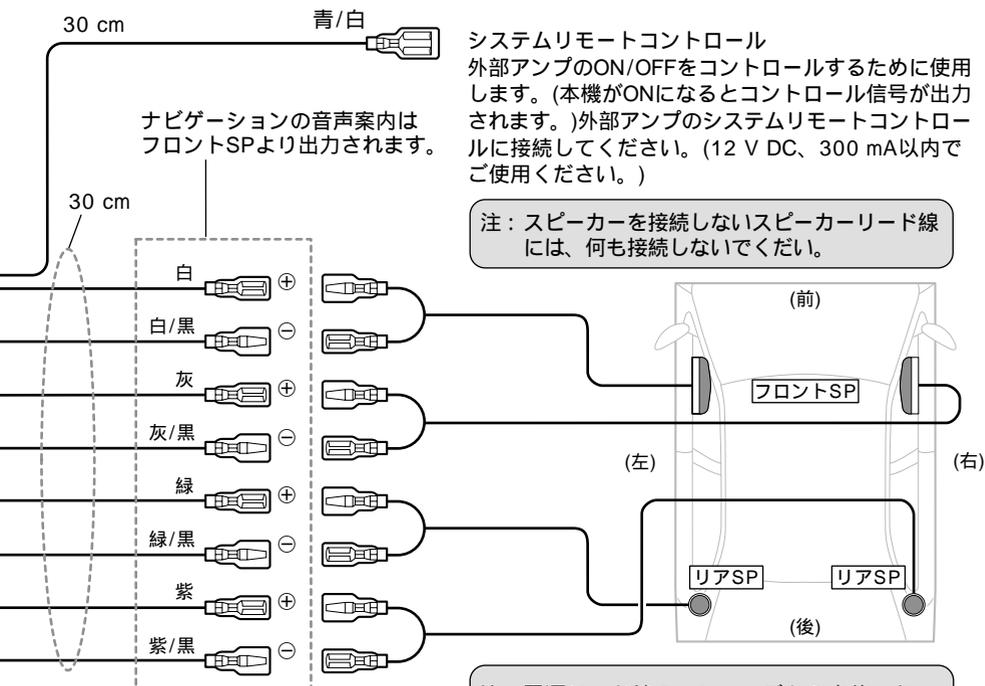
パーキングブレーキスイッチ
車が停車していることを確認する
ために使用します。必ずパーキング
ブレーキスイッチの+側リード線に接
続してください。

接続方法



パーキングブレーキ
スイッチの+側リ
ード線をはさみ込む。 → ラジオペンチで
強くはさむ。

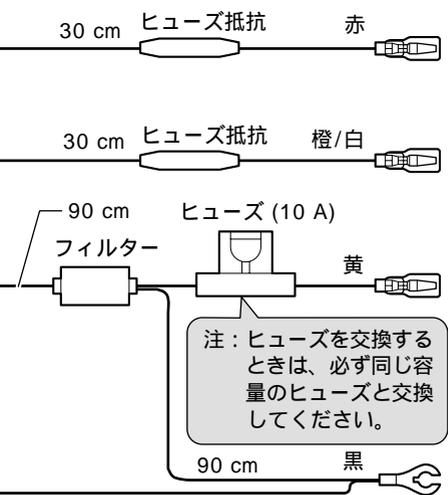
パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって
異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談
ください。



システムリモートコントロール
外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)外部アンプのシステムリモートコントロールに接続してください。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

注：電源リード線の、ヒューズから本体、およびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。



アクセサリ電源
車のエンジンスイッチをACCポジションにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

イルミ電源
車のライトをONにしたときに、電源が供給される電源回路(時計の照明回路やスモールランプ回路など)に接続してください。

+バッテリー電源
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：赤、橙/白、黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

アース
車のボディの金属部に確実に接続してください。

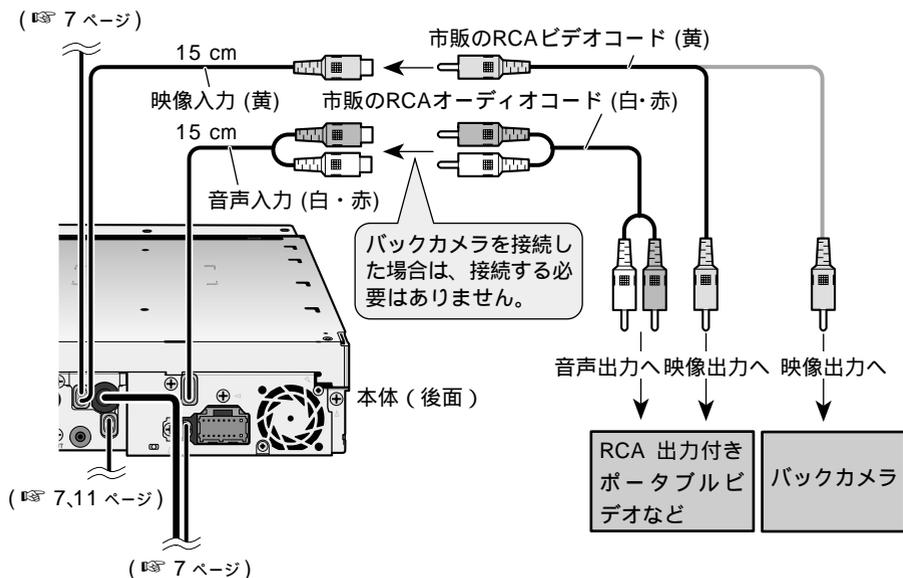
映像/音声入力 of 接続

RCA出力付きポータブルビデオ、バックカメラなどを接続すると、その映像や音声を楽しむことができます。

映像/音声入力に接続したときは、**システム設定** **AV入力設定** の **VTR1** または **VTR2** をONにしてください。ONにすると、接続した製品の映像や音声に切り換わるようになります。(☞『取扱説明書』)

「AVIC-H9」または、「AVIC-H99」、「AVIC-H09」、「AVIC-H07」を「HDDナビゲーションマップ Vol.2」以降にバージョンアップさせたナビゲーションと組み合わせる場合は、バックカメラをVTR1のみ接続することができ、シフトレバーをリバースの位置にすると後方の映像を表示させることができます。接続したときは、**VTR1** を **Back Camera** にしてください。(☞『取扱説明書』)

VTR1の接続



メモ

接続する製品の端子の形状に合わせて、各種変換コードをお使いください。

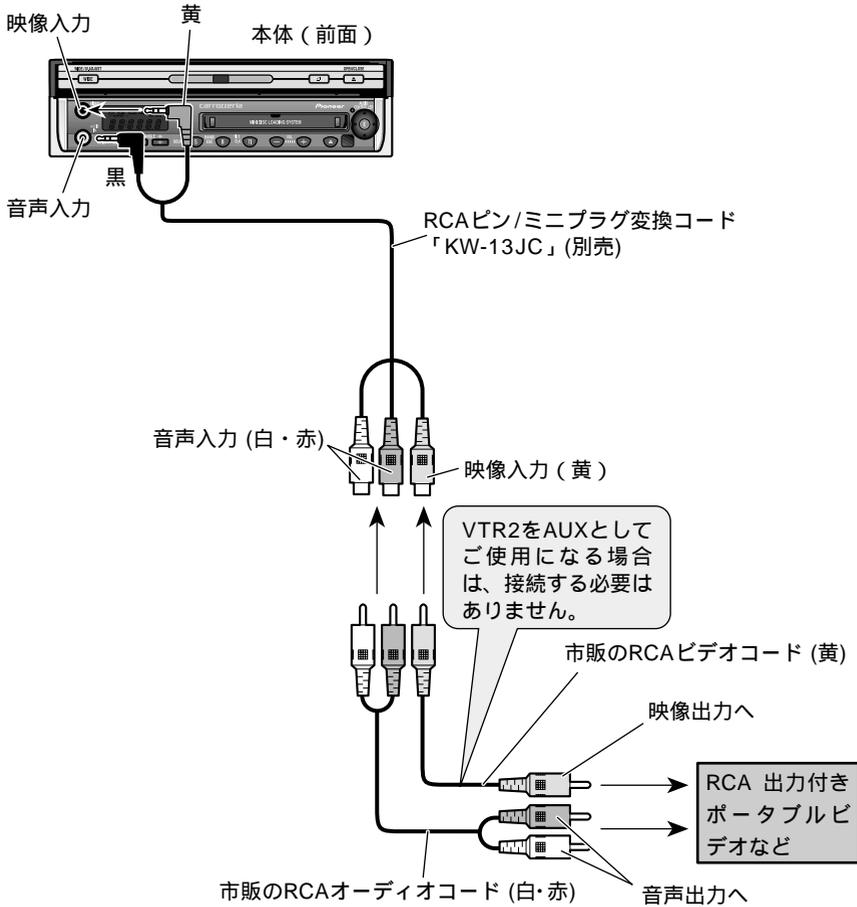
接続するときは、本機および接続する製品の電源をOFFにしてから接続してください。

接続する製品の音声がモノラル出力の場合は、音声入力のL側 (白)とR側 (赤) に接続できるように、市販の変換ケーブルをご使用ください。

バックカメラを接続する場合は、必ずバック信号入力も接続してください。接続しないとバックカメラ映像に切り換わりません。

バックカメラはナビゲーションの3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了していないと切り換わりません。

VTR2の接続



5.1ch対応・DSPユニットとの接続

パイオニア製の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P7」と組み合わせると、5.1チャンネルで収録された映画/音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。パイオニア製の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P7」と組み合わせる場合は、マルチチャンネルプロセッサコマンダー「AXM-P7」にてDSPユニットをコントロールする必要があります。また、ナビゲーションの音声案内を出力するためにガイド音声用スピーカー「CD-TS36G」も必要になります。

拡張用デジタル出力端子付きパイオニア製HDDナビゲーション「AVIC-H9」以外は組み合わせることはできません。

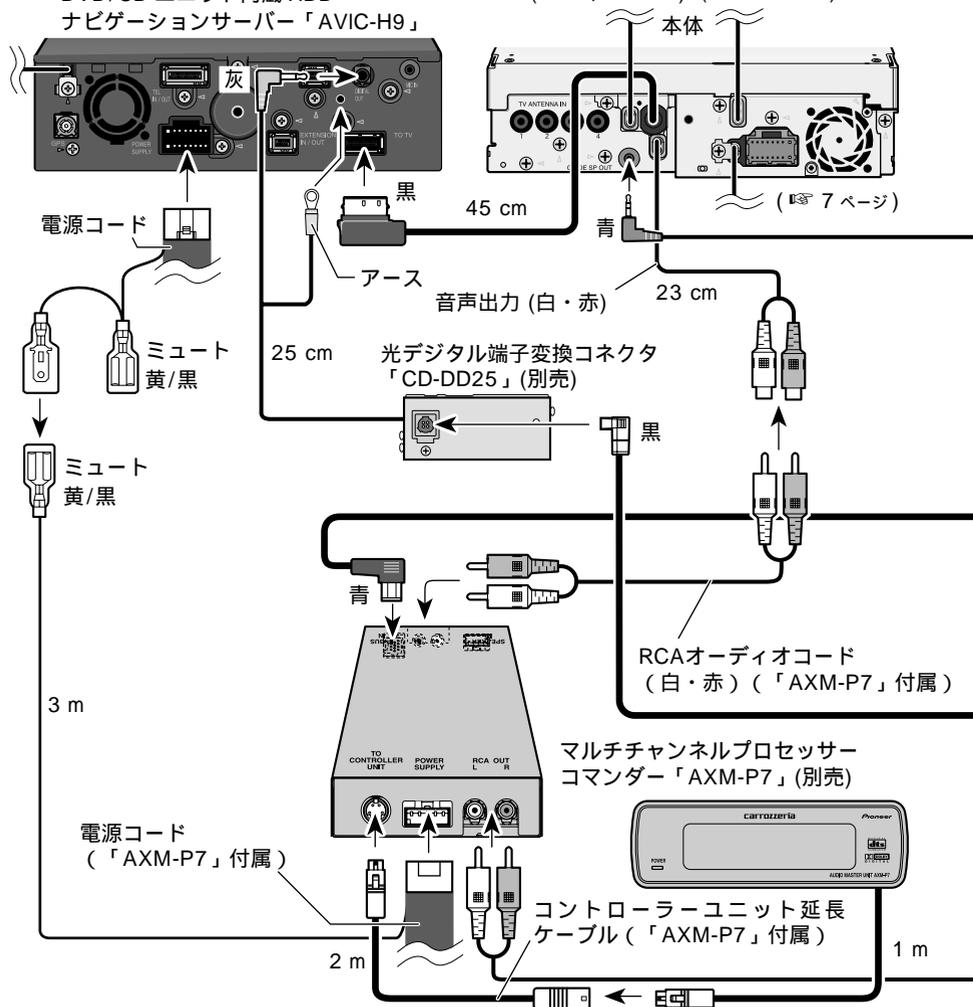
本機のスピーカーリード線には接続しません。

5.1ch対応・DSPユニットを組み合わせたときは、**システム設定** **5.1ch DSPユニット**をONにしてください。ONにすると、DSPユニットから音声が出力されます。(『取扱説明書』)

DVD/CDユニット内蔵HDD

ナビゲーションサーバー「AVIC-H9」

(『7、10ページ』) (『10ページ』)





ガイド音声用スピーカー
「CD-TS36G」(別売)

3 m

5.1ch対応 DSPユニット
「DEQ-P7」(別売)

IP-BUSケーブル
(「DEQ-P7」付属)



3 m

光デジタルライン
(「DEQ-P7」付属)

青

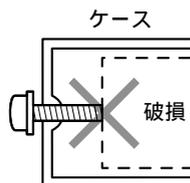
RCAオーディオコード
(白・赤)(「DEQ-P7」付属)

3 m

取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず以外れたりして危険です。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

ノイズ防止のために

TVアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。TVアンテナは、TVアンテナの取り付け(16ページ)の説明に従って正しく取り付けてください。

ノイズ防止のために

ノイズ防止のため、TVアンテナおよびFM/AMアンテナコードは、下記の物からできるだけ離して配置してください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

- * ラジオ/FM多重用アンテナおよびアンテナコード
- * RGBケーブル
- * RCAコード
- * 電源コード
- * 車両のコードおよび機器類
- * ナビゲーション本体
- * GPSアンテナ

それぞれのコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

本体とHDDナビゲーション(「AVIC-H9」「AVIC-H99」「AVIC-H09」「AVIC-H07」)を重ねて設置し、本体をHDDナビゲーションの上に取り付けるときは、付属のコードクランプとバインドネジを使って(5ページ)の図のようにTVアンテナコードを固定してください。

本体の取り付けについて

取付キットを別売しています

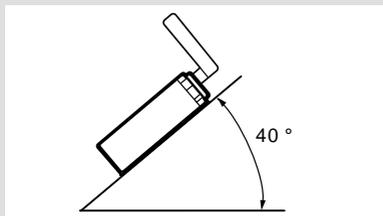
車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けかないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意してありますので、販売店にご相談ください。

日産車に取り付ける場合は、車種や年式によって別売の日産車用取付化粧パネル「AD-N980」が必要になることがありますので、販売店にご相談ください。

本体の取り付け

取り付け上のご注意

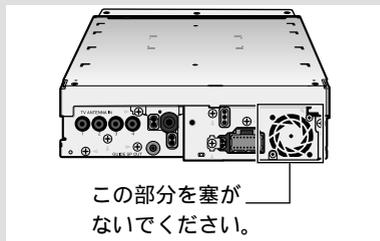
本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して40度以内の角度で取り付けてください。



車種によっては、モニター部がコンソールやダッシュボードに当たってしまい、モニター部の角度を上向きに調節できない場合があります。

本機とナビゲーションを重ねて取り付けるときは、本機を上にして取り付けてください。本機を下に取り付けると、モニター部が立ち上がったときに、ナビゲーションの操作ボタンを隠してしまい、ナビゲーションの操作の妨げになります。

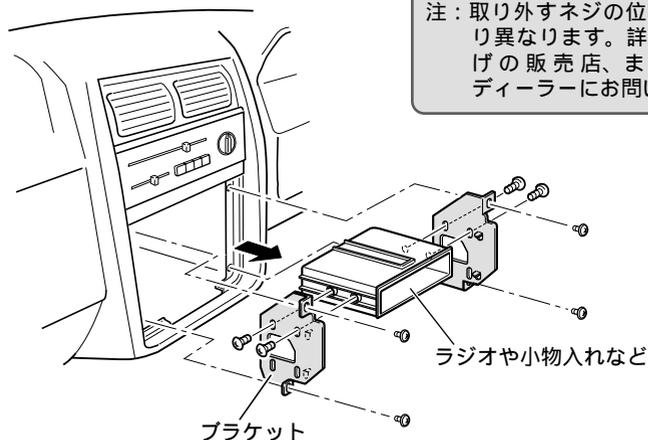
放熱を妨げないために、下図の部分を塞ぐような取り付けは避けてください。



車種によっては、モニター部が立ち上がったときに、車のエアコンなどの操作ボタンを押してしまうことがあります。このようなときは販売店にご相談ください。必ず本機および取付キットに付属のネジを使用して取り付けてください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためたり、モニター部が立ち上がらなくなることがあります。

1 車両のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



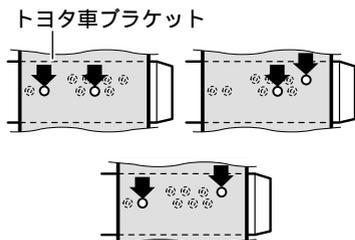
本体の取り付け

つづき

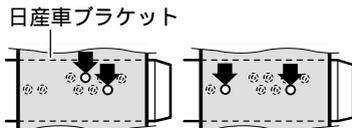
2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。
 ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

トヨタ車の場合



日産車の場合



取り付けスペースの奥行きが少ない車に取り付ける場合

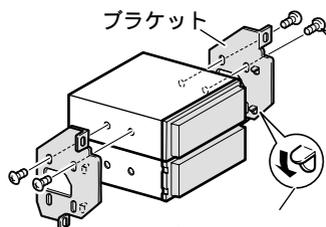
本機の奥行きは、カーステレオよりもやや長くできています。通常のネジ穴の位置でコンソールに収納できない場合は、使用するネジ穴を後側にずらして取り付ける事も可能です。

例：日産車の場合

	タイプ 1	タイプ 2
	日産車ブラケット	
通常のネジ穴を使用する場合		
後側のネジ穴を使用する場合		

3 ブラケットを 付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



ツメがじゃまになるときは、折り曲げます。



バインドネジ
(5 × 6 mm)
× 4



バインドネジ
(4 × 3 mm)
× 4



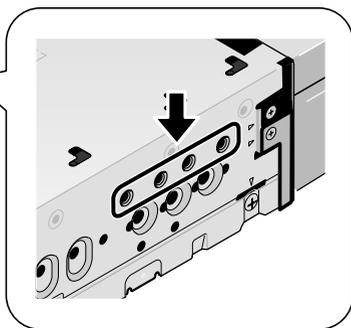
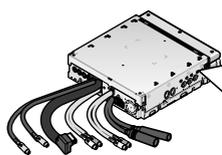
皿ネジ
(5 × 6 mm)
× 4

ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。

注：付属のネジ以外は使用しないでください。
付属のネジよりも長いネジを使用すると、
本機内部の部品をいためたり、モニター部
が立ち上がらなくなることがあります。

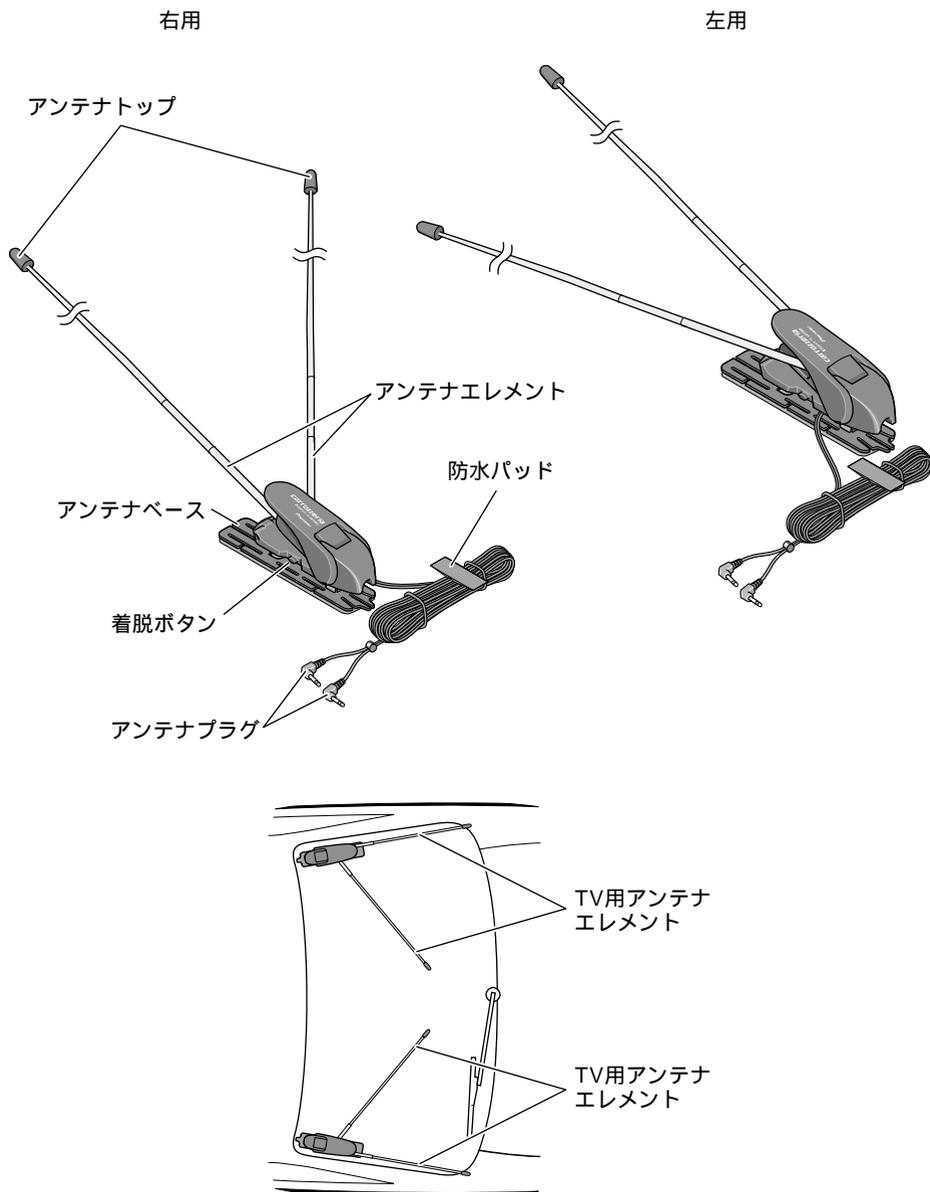
ブラケット取り付け時のご注意

左側、右側、どちらも下記のネジ穴は付属のバインドネジ (4 × 3 mm) を使用してください。



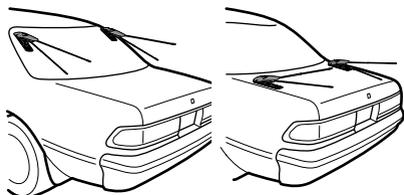
TVアンテナの取り付け

各部のなまえ

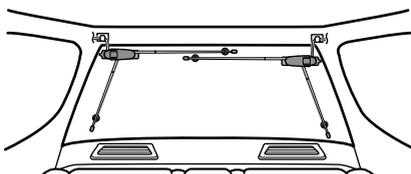


取り付け場所について

アンテナを車室外に取り付けるときは、リアガラスまたはトランクリッドに粘着テープで貼り付けます。



アンテナを車室内に取り付けるときは、リアガラスに両面テープで貼り付けます。



ガラスアンテナや熱線の上には絶対に取り付けしないでください。

アンテナのエレメントが車幅からはみ出ない場所、また、車の後端より後にはみ出ない場所に取り付けてください。なお、1ボックスカーや2ボックスカーの車室外のリアガラスには、絶対に貼り付けしないでください。

1ボックスカー 2ボックスカー



取り付け上のご注意

アンテナは確実に貼り付け、固定してください。確実に固定しないと、走行中に外れたりする危険性があります。

ガラス面に取り付けるときは、必ず付属のクリーナー剤で、貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除き、乾いたあとにきれいな布でふき取ってください。湿気、油などがあると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

車のボディに取り付けるときは、塗装保護シートを必ず使用してください。使用しないと車のボディの塗装をはがす原因となることがあります。

確実に貼り付けるため、取り付けは天気の良い日中に行ってください。雨や霧の日など湿気の多いときに取り付けると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

気温が低いときにガラス面に取り付けるときは、接着力の低下を防ぐため、両面テープの接着面と取り付け場所を、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして暖めておいてください。(20 以上)

リアガラスアンテナ車の場合は、トランクリッドに取り付けてください。(リアガラスに取り付けた場合、本機の電源を入れたままカーステレオでラジオ放送を受信すると、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。)

両面テープの接着面は指で触ったり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

取り付け後、24時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)に当てないでください。また、高速走行など、アンテナに無理な力が加わるようなことはしないでください。ナビゲーションに付属している『取付説明書』もあわせてご覧ください。

TVアンテナの取り付け

つづき

リアガラスに取り付ける場合

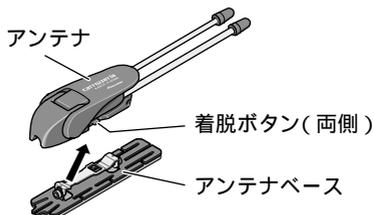
取り付け上のご注意

トランクを開けたときに、トランクがアンテナの元素に当たらない位置（できるだけ高い位置）に取り付けてください。

リアワイパーの可動範囲を確認し、リアワイパーの可動範囲内には絶対に取り付けないでください。

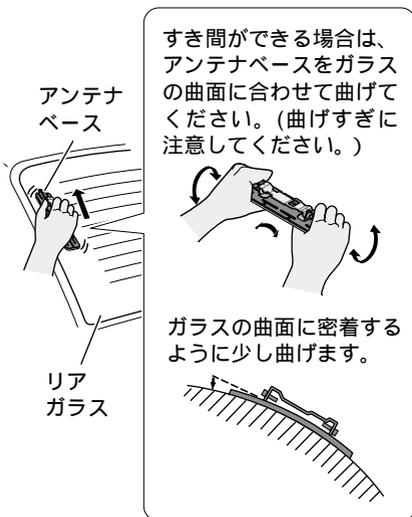
1 アンテナを外す

着脱ボタンを押し、アンテナをアンテナベースから取り外します。（P.27ページ）



2 アンテナを貼り付ける位置を決める

アンテナベースを裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、アンテナベースとガラス面との間にできるだけすき間のできない位置をさがします。



3 ガラスクリーナー剤で、汚れ、油などを取り除く

- 1 付属のガラスクリーナー剤を、付属のクロスに付け、少し力を入れて拭きます。
- 2 クリーナー剤が白く乾いたら、水で洗い流します。
- 3 きれいな乾いた布でから拭きし、水分を完全に取り除きます。

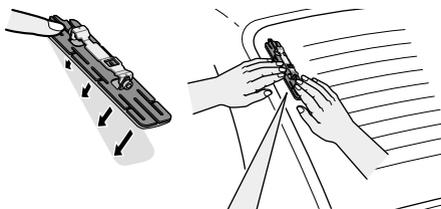


4 気温が低いときはリアガラスを暖める

接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアデフォッガースイッチをONにして、リアガラスを20℃以上に暖めます。

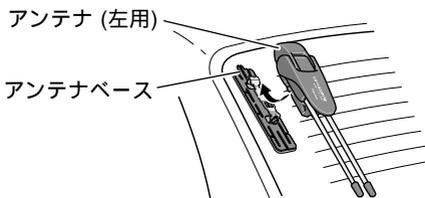
5 アンテナベースをリアガラスに貼り付ける

裏面の保護シートをはがし、先端から徐々に貼り付けます。



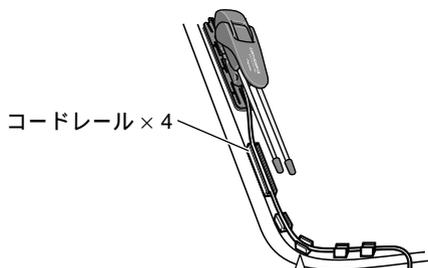
リアガラスに密着するように、指で強く押しつけてください。(貼り付けた後、空気が入っていないか車内から確認し、空気が入っていたらさらに強く押しつけてください。)

6 アンテナを取り付ける (※ 27ページ)

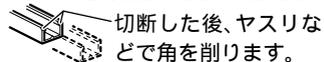


7 アンテナコードを固定する

付属のコードレールをリアガラスに貼り付け、コードを固定します。



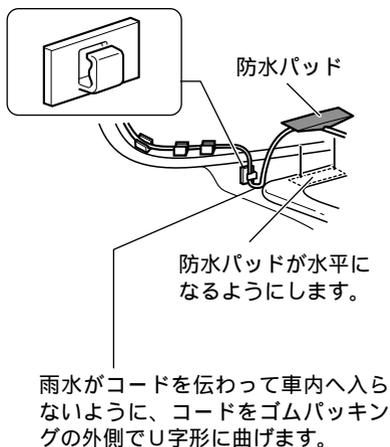
カッターなどで必要な長さに切断します。



8 アンテナコードを車内に引き込む

付属のクランパーでコードを固定します。

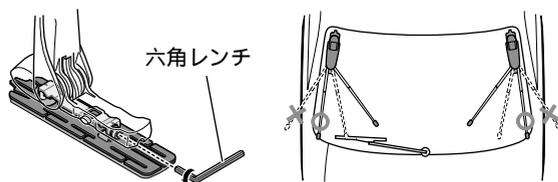
クランパー × 6
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。



取り付けかた

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのばしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの前後2本の六角穴付きネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

TVアンテナの取り付け

つづき

トランクリッド (車室外) に取り付ける場合

取り付け上のご注意

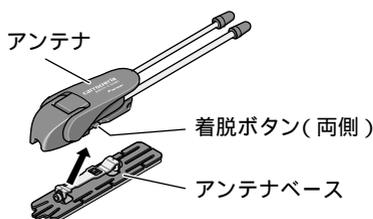
TVアンテナが脱落する危険があるので、フッ素樹脂加工および再塗装された車のボディには貼れません。

トランクを開けたときに、アンテナのエレメントがリアガラスなどに当たらない位置に取り付けてください。

1 アンテナを外す

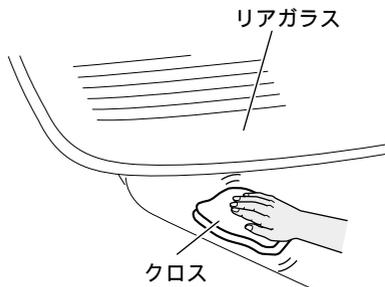
着脱ボタンを押し、アンテナをアンテナベースから取り外します。

(P. 27ページ)



2 汚れ、油などを取り除く

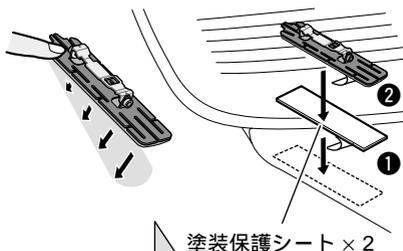
アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



付属のガラスクリーナー剤は、塗装をはがすことがありますので車のボディには使用しないでください。

3 アンテナベースをトランクリッドに貼り付ける

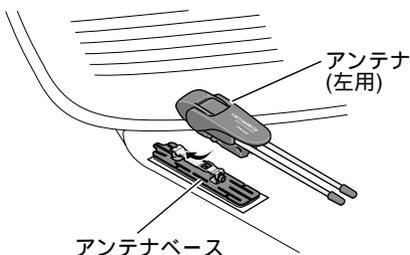
- 1 塗装保護シートをトランクリッドに貼り付けます。
- 2 塗装保護シートにアンテナベースを貼り付けます。



トランクリッドに密着するように、指で強く押しつけてください。

塗装保護シートを必ず使用してください。使用しないと車のボディの塗装をはがす原因となることがあります。

4 アンテナを取り付ける (P. 27ページ)

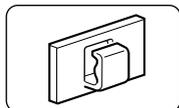
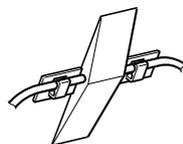


5 アンテナコードを 車内に引き込む

付属のクランパーで防水パッドとコードを固定します。

雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

防水パッド
防水パッドの前後をクランパーで固定します。

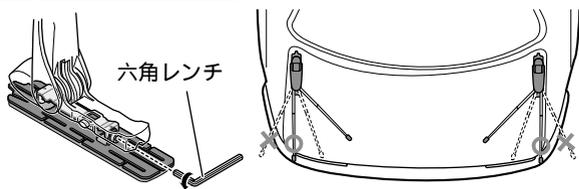


クランパー×6
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

トランクを閉めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当たるようにします。

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのぼしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの前後2本の六角穴付きネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

TVアンテナの取り付け

つづき

車室内に取り付ける場合

⚠必ずお守りください

エレメントの先端は、必ず付属のホルダーで固定してください。外れた状態でご使用になると、アンテナが脱落したり、エレメントの先端でケガをする場合があります。

設置後は、幼児のいたずらにご注意ください。思わぬケガの原因となる場合があります。

取り付け上のご注意

電波の強い地域(首都圏中心部)ではTVアンテナを車室内に取り付けられる場合があります。電波の弱い地域では車室外に取り付けてください。

車室内に取り付けた場合、車室外に取り付けた場合と比較してテレビの映りが悪くなります。テレビの映りが悪い場合はアンテナを車室外に取り付けてください。

TVアンテナの受信状態をできるだけ良くするために、下図のようにリア(リアハッチ)ガラスにTVアンテナを下向きに取り付けることをおすすめします。また、できるだけエレメントをのぼして取り付けてください。

断熱ガラスを使用した車および熱線遮断フィルムを使用した車では、その一部に電波を通しにくい種類のものがあり、受信できないことがあります。お車のガラス、フィルムの種類をお確かめください。

フロントガラスや運転の妨げになるガラスへ取り付けないでください。

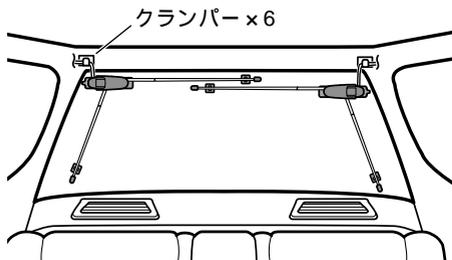
車のガラスの大きさや角度により取り付けができない場合があります。アンテナを取り付ける前に確認してください。

取り付けの際は、ガラスの端からアンテナエレメントまでの間隔を20mm以上あけてください。ガラスの端に近づけすぎると、テレビの映りが悪くなる場合があります。

車のラジエーターファンのモーターや、ヒーターのモーターなどからノイズが飛び込み、映像が影響を受ける場合があります。

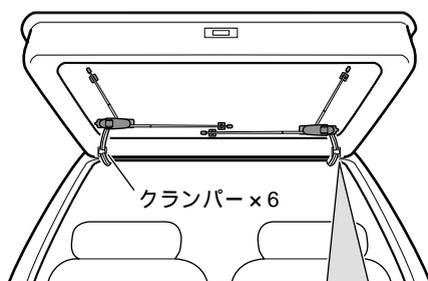
熱線の上には貼り付けしないでください。取り外した際に熱線が切れる場合があります。

例1：リアガラスへの取り付け



アンテナをできるだけ高い位置に取り付けると、受信感度が良くなります。

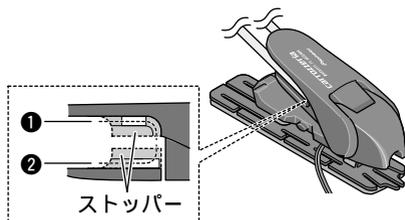
例2：リアハッチガラスへの取り付け



ハッチの開閉の際に、ケーブルが引っ張られたりじゃまにならないように、クランパーを使用して要所を固定してください。

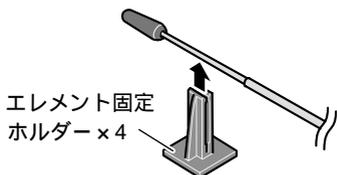
1 ストッパーを切り取る

ニッパーなどで2ヶ所(①、②)切断し、ストッパーを切り取ります。



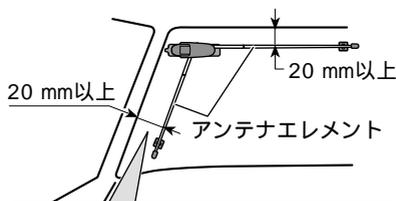
2 エレメント固定ホルダーをアンテナに取り付ける

各エレメントの先端部にエレメント固定ホルダーを取り付けます。



3 アンテナを貼り付ける位置を決める

アンテナベースとエレメント固定ホルダー裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、取り付ける位置を決めます。



ガラスの端からアンテナエレメントまでの間隔を20 mm以上あけてください。ガラスの端に近づきすぎると、性能を十分に発揮できない場合があります。

4 ガラスクリーナー剤で、汚れ、油などを取り除く

- ① 付属のガラスクリーナー剤を、付属のクロスに付け、少し力を入れて拭きます。
- ② クリーナー剤が白く乾いたら、きれいなぬれた布でクリーナー剤を良くふき取ります。
- ③きれいな乾いた布でから拭きし、水分を完全に取り除きます。

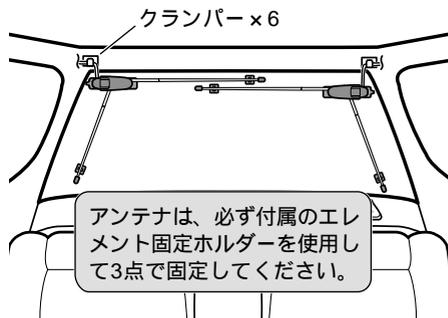


5 気温が低いときはリアガラスを暖める

接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして、リアガラスを20 以上に暖めます。

6 アンテナを取り付ける

アンテナベースとエレメント固定ホルダー裏面の保護シートをはがし、アンテナを固定します。次に付属のクランパーを使用して、アンテナケーブルを固定します。(前ページ)

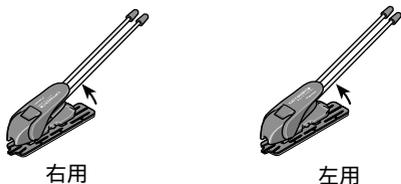


TVアンテナの取り付け

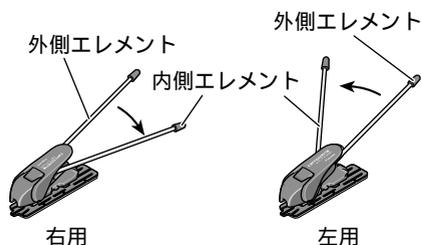
つづき

アンテナの使いかた

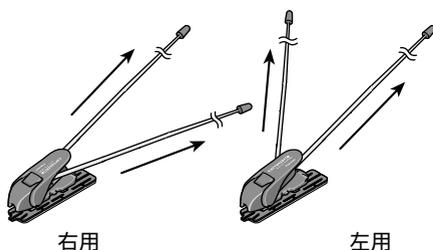
1 アンテナを 起こす



2 内側エレメントを 横にずらす

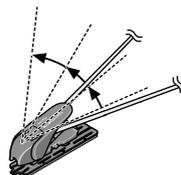


3 アンテナエレメントを いっぱいのにぼす



4 アンテナ角度を 調節する

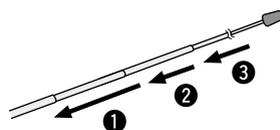
アンテナの角度は、4段階に設定できます。受信感度の良い角度に調節してください。



水平よりやや上向きに調節してください。

アンテナエレメントを収納 する際のご注意

エレメントの太い部分から順に収納してください。先端は細くなっていますので、ていねいに扱ってください。

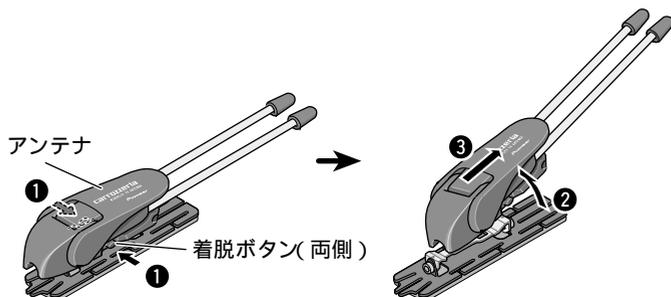


アンテナの着脱のしかた

自動洗車機で洗車するときや、長時間駐車する場合などは、アンテナを取り外し、トランク内に収納してください。

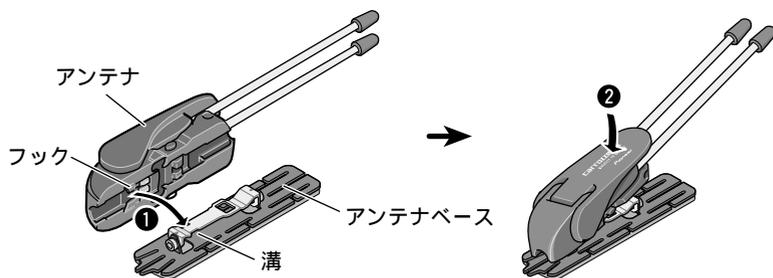
アンテナの外しかた

- 1 着脱ボタン(両側)を押しながら、
- 2 アンテナの後部を少し持ち上げ、
- 3 矢印の方向に引き抜きます。



アンテナの取り付けかた

- 1 アンテナベースの前側の溝に、アンテナの前側のフックを挿入します。
- 2 アンテナの後部を矢印方向に押し、ロックさせます。(“カチッ”と音がすることを確認してください。)



取り付けかた

アンテナの取り扱い上のご注意

アンテナおよびアンテナコードは、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品で拭かないでください。表面が侵されることがあります。

エレメントにゴミや汚れが付着し、スムーズに伸縮しなくなった場合は、ねり状ワックスなどでエレメントの金属部分をみがいでください。

アンテナのエレメントにアクセサリーなどの飾りを付けしないでください。無理な力がかかると、エレメントが折れ曲がったり、アンテナが脱落する恐れがあります。

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動することを確認してください。

1 接続・取り付けを もう一度確認する

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度目で見て確認してください。

2 車のエンジンを かける



3 ボールペンの先などで リセットボタンを押す



リセットボタン

4 本機の動作を 確認する

(『取扱説明書』)